

神戸市SDGs債と「神戸2025ビジョン」の関係性 BE KOBE

神戸市の起債と「神戸 2025 ビジョン」との関係性・・・「神戸2025ビジョン」の実現を通じて、SDGsの達成をめざす

神戸市（自治体）の取り組みについて



地方債が活用可能な事業内容について

地方財政法第5条各号その他の法令の規定により、地方債を財源とすることができる事業に制約あり

SDGsの達成に資するという具体的な目標・KPIを掲げつつ、起債運営については**資金使途に制約を設けない手法**を採用

神戸市SDGs債のコンセプト

	通常のSDGs債	神戸市SDGs債
ICMA原則	準拠	準拠せず
資金使途	制約あり	制約なし
年限選択	事業内容に応じて	市場環境に応じて
レポート	資金使途（指定事業別）	発行体の掲げる事業別
第三者評価	フレームワークに付与	事業運営方針に付与
目指す成果	ESG/SDGsへの貢献	

- 商品性は従来の神戸市債と同一
- 「神戸2025ビジョン」ではテーマを「海と山が育むグローバル貢献都市」とし、SDGsの考え方を取り入れた基本目標・KPI等を設定
- R&I社より本ビジョンはSDGsの達成に資するものと第三者評価を取得済み
- 一方で、資金使途については、既に地方債発行により活用可能な事業は法制度上の制約が存在しており、円滑な資金調達と事業運営の観点から、更に調達資金充当先の制約を設ける手法は採用せず

- 神戸市SDGs債のフレームワークは以下4項目より構成

I. 調達資金の使途

- 地方財政法第5条各号その他の法令の規定により地方債を財源とすることができる事業であること
- 特定の特定の事業・プロジェクトへの資金使途の制約を設けることはしない

II. プロジェクトの評価と選定のプロセス

- 地方公共団体は、法令等にしたがって、起債することができる内容、充当できる内容が定められており、事前に総務省への届け出・協議が必要
- 予算に従って起債ことができ、予算については年度開始前に議会の議決を経る必要がある
- 予算編成等の過程において対象事業の実現性や効果の持続性について検証
- 予算編成においても、「神戸2025ビジョン」に掲げる施策に重点的に配分し、予算編成を行っている。
- これらにより、対象事業の評価・選定プロセスに関して、ガバナンスの面からも適正性を確保

III. 調達資金の管理

- 調達資金は、神戸市の規則に基づき経理区分に応じて分類するなど、資金使途を明確にしながら管理
- 調達資金は、原則として当該年度中の対象事業に充当

IV. レポーティング

- 毎年度、神戸2025ビジョンの基本目標（施策の柱）ごとに定める数値目標の達成度、各施策の取り組み状況やKPI(重要業績評価指標)の達成度を把握するとともに、まちの質・くらしの質を示す客観的指標やSDGsローカル指標など、さまざまなデータも踏まえながら、効果検証を実施し、課題の抽出や改善を実施
- また、社会経済情勢などの外部環境に大きな変化が生じた場合には、見直しの検討を行い、柔軟に対応
- 毎年度、達成状況等を踏まえさらなる推進に向けて外部有識者による会議で議論、検証の結果を市会へ報告する。

- 「神戸2025ビジョン」は神戸の都市像、まちづくりの方向性を示した5か年の実施計画
- 神戸市では「神戸2025ビジョン」に則った事業運営を実行し、ビジョンにて定める7つの基本目標の達成に努める方針

神戸市2025ビジョン 全体構成

ビジョンのテーマ

海と山が育む
グローバル貢献都市



基本的な考え方

豊かな自然と文化、多様な価値観が融合する神戸の強みを磨き、活かした新たな価値・スタイルを創造する



人口減少時代に向き合い、神戸のまち・くらしの質を高め、成熟都市の魅力を訴求し、好循環へ転換する



神戸に住み、働き、学び、楽しみ、あらゆる関係者が幸福を実感するまちを実現する



ダイバーシティ推進やジェンダー平等の視点を確保し、女性が活躍できる環境を整え、外国人市民をはじめとした多様な市民の参画による多文化共生社会を実現する



震災から再起した市民の知恵・気風を活かし、あらゆる危機への備え、誰一人として取り残さず、人を大切にする安心・安全なまちを実現する



テクノロジーの実装・デジタル化の加速による市民生活の豊かさや利便性向上、経済活動の回復・成長、環境貢献など、SDGsの達成による持続可能な都市を実現する



基本目標

- | | | | | | | |
|------------------------|--------------------------|-----------------|----------------------------|--------------------|------------------------|--------------------------|
| ①魅力的な仕事の創出と産学連携による経済成長 | ②妊娠・出産・子育て支援と特色ある教育環境の充実 | ③多様な文化・芸術・魅力づくり | ④災害や感染症などを踏まえた安全な社会システムの構築 | ⑤安心・健康でゆとりあるくらしの実現 | ⑥将来にわたって持続可能な都市空間・インフラ | ⑦多様な市民の参画による地域コミュニティの活性化 |
|------------------------|--------------------------|-----------------|----------------------------|--------------------|------------------------|--------------------------|

▶ 7つの基本目標に基づき、数値目標・施策・事業・事業のKPIを策定

勘案

国の第2期
「まち・ひと・しごと創生総合戦略」

- 【横断的な目標1】多様な人材の活躍を推進する
- 【横断的な目標2】新しい時代の流れを力にする（Society5.0の推進、地方創生SDGsの実現など）

【基本目標1】
稼ぐ地域をつくとともに、安心して働けるようにする

【基本目標2】
地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる

【基本目標3】
結婚・出産・子育ての希望をかなえる

【基本目標4】
ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる

令和3年度予算におけるSDGs17ゴールと主要施策

1 貧困をなくそう



- ・ひとり親家庭への支援
- ・就職氷河期世代支援事業

2 飢餓をゼロに



- ・中学校給食の保護者負担軽減
- ・福祉情報・生活保護システムの再構築

3 すべての人に健康と福祉を



- ・医療提供体制の安定的確保（新型コロナウイルス）
- ・病児保育事業の充実

4 質の高い教育をみんなに



- ・GIGAスクール構想の推進
- ・学校園の長寿命化・大規模改修

5 ジェンダー平等を実現しよう



- ・女性のキャリアアップ・再就職支援
- ・女性活躍を推進するための体制強化

6 安全な水とトイレを世界中に



- ・プラスチックごみ問題への対応
- ・公共施設の整備（駅周辺リノベーション等）

7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに



- ・燃料電池自動車（FCV）の導入促進
- ・再生可能エネルギーの導入促進

8 働きがいも経済成長も



- ・六甲山上スマートシティ構想の推進
- ・スタートアップ支援
- ・スマートシティの推進

9 産業と技術革新の基盤をつくろう



- ・ICT学習環境整備
- ・神戸医療産業都市の推進

10 人や国の不平等をなくそう



- ・こども医療費助成制度の拡充
- ・在住外国人支援体制の充実

11 住み続けられるまちづくりを



- ・陸海空の広域交通結節機能の強化
- ・国土強靱化

12 つくる責任 つかう責任



- ・空き家・空き地活用
- ・「KOBEストップthe食品ロス」運動

13 気候変動に具体的な対策を



- ・豊かな里山・里海づくりと脱炭素化の推進
- ・再生可能エネルギーの導入促進

14 海の豊かさを守ろう



- ・海洋産業振興プロジェクトの推進
- ・プラスチックごみ問題への対応

15 陸の豊かさを守ろう



- ・「食都神戸」の推進
- ・里山・農村地域等の活性化

16 平和と公正をすべての人に



- ・コロナ禍に直面する市民・市内事業者等への支援
- ・地域における協働・多文化共生・多世代交流の推進

17 パートナリシップで目標を達成しよう



- ・イノベーション創出拠点の開設・運営（UNOPS）
- ・官民連携による取り組み